

十二月一日「美郷町」が誕生

千畑・六郷・仙南の歴史を引き継ぎ

心機一転 新たなスタート

千畑町、六郷町、仙南村が合併して十一月一日、美郷町（みさとちょう）が発足。「平成の大合併」で県内のトップを切り、新たな歴史をスタートさせました。

この日、三つの分庁舎では、午前七時五十分からそれぞれで開庁式を行い、銘板の除幕やテープカットにより、美郷町の誕生を祝いました。

六郷庁舎では
来賓など約百五十人が開庁を祝う

町長公室や総務課などの総務管理部門が置かれる六郷庁舎の開庁式には、旧町村の町村長や議会議員、町民など約百五十人が出席。初めに、新しい町長が決まるまで町長の職務を執行する藤嶋長右エ門・元千畑町長をはじめ、町章をデザインした鈴木宏之さん（美郷町六郷）、町議会代表の伊藤光明さん、仙北地域振興局長の本間智さんの四人で、正面玄関の銘板を除幕。その後、職員の手によって国旗と町旗の掲揚が行われました。



式典で藤嶋町長職務執行者は「平成十六年十一月一日は、『美郷町』が第一歩を歩み出す、まさに歴史的な記念すべき日となった。美郷町の飛躍的な発展につなげるため、そして躍動し魅力あふれる美郷町を築いていくため、まちづくりの主人公である町民の皆様、絶大なるご支援とご協力、積極的なご参画をお願いしたい」とあいさつ。その後、町議会を代表して佐々木順吉さんがあいさつするとともに、仙北地域振興局長が来賓を代表して祝辞を述べられました。

佐藤美郷さん（美郷町金沢）が
町民を代表してテープカット

開庁式では最後に、町長職務執行者をはじめ町議会代表の後松一成さん、仙北地域振興局長、そして町民代表の四人が、開庁を祝い、テープカット。





千畑庁舎の開庁式
(左から職員の本間智子、中野弘総合サービス課長、職員の本間浩之)



仙南庁舎の開庁式
(左から職員の本間輝、森川福蔵総合サービス課長、職員の本間奈緒子)



六郷庁舎のテープカット
(左から藤嶋町長職務執行者、佐藤美郷さん、佐藤朝陽ちゃん、後松一成町議会議員、本間智県仙北地域振興局長)



このうち、六郷庁舎の総合サービス課には、十月二十三日に挙式したという小西嘉之さん(美郷町六郷東根)と阿部美咲さん(皆瀬村出身)が婚姻届の手続きのため来庁。窓口利用者第一号として、藤嶋町長職務執行者から花束が贈られました。

総合サービス課の利用第一号は婚姻届の小西嘉之さん・美咲さん

また、各庁舎では、午前八時三十分の業務開始とともに多くの町民が訪れ、住民票や印鑑登録証などの申請手続きなどで混雑しました。



町民の代表に選ばれたのは、旧三町村の住民でただ一人、名前が美郷町と同じ美郷(みさと)であった佐藤美郷さん(美郷町金沢)で、長男の朝陽ちゃん(8カ月)を抱いて大役を務め、美郷町の誕生に花を添えました。

ごあいさつ



美郷町長職務執行者
藤嶋 長右工門

平成十六年十一月一日、千畑町・六郷町・仙南村が合併し、美郷町が誕生いたしました。
「平成の大合併」のトップをきつてこの日を迎えられましたのも国、県当局並びに関係各方面の皆様、そして議会議員各位はじめ合併協議会の委員の皆様、地域住民の皆様のご多大なるご支援・ご協力によるものと心より感謝申し上げます。

新しい町長が決定するまでの間、私が町長職務執行者として務めさせていただくことになりました。短い期間ではありますが旧三町村から美郷町への移行がスムーズに行われ、遅滞なく業務を遂行していくための大切な期間として、その責任の重さを痛感しているところであります。

合併は単なる行政の効率化を目指すものではなく、新たなまちづくりであります。旧三町村は美しい自然の中でそれぞれの歴史、伝統、文化を尊重しながら、住民の幸せを願ってよりよいまちづくりに努めてまいりました。今後は各地域のもつ資源や魅力を共有し連携を図りながら、個性と特色あるまちづくりを一体的に進めていくことが重要であると考えております。豊かな自然をより大切にしながら二万四千人の住民の皆様が、真に「合併してよかった」と実感できるようにまいりますので、今まで以上にご支援・ご協力をよろしくお申し上げます。